

3/8

Thu.



第2回組合員学習会 くらしと憲法のかかわりを学習

埼玉県県民健康センター大会議室にて、弁護士で伊藤塾塾長の伊藤真さんを講師にお迎えし、「一人ひとりが大切にされる社会を～私たちのくらしと憲法～」をテーマに開催し、4生協50人が参加しました。埼玉県生協連がかかげる憲法についての学習をひろめる活動の一環として、日本国憲法の基本的な理解を深め、私たちのくらしと憲法のかかわりについて学ぶことを目的に開催しました。

3/27

Tue.

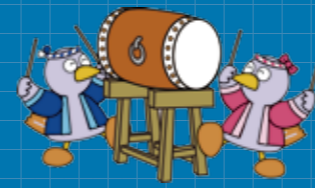


フードバンクとボランティアについての学習会 フードバンクの実情を知り、 食品の仕分け作業も体験しました

埼玉勤労者福祉センター（ときわ会館）にて、NPO法人フードバンク埼玉事務局長の永田信雄さんを講師に開催し、25人が参加しました。フードバンク・フードドライブの周知にともなう食品提供の増加に対応し、取り組みを「支える体制」を確保するために、フードバンクの取り組みとボランティアの役割について学び、ボランティアへの協力者になっていただくことを目的に開催し、16人の方にボランティア登録していただきました。

写真 ニュース

2018・夏号 No.67



埼玉のマスコット「コバトン」

TOP
NEWS5/22
Tue.

4/24

Tue.



NPO法人 埼玉消費者被害をなくす会 「特定適格消費者団体」の認定を受けました

平成30年4月24日付けで、全国で3団体目となる「特定適格消費者団体」認定を受けました。認定されたことで、被害回復裁判手続を進行できる団体として、活動することになりました。

交付式の後には、福井大臣、岡村消費者庁長官、井内政策立案統括審議官と、池本誠司理事長をはじめ、当会からの参加者6人との懇談をおこないました。

5/30

Wed.



2018さよなら原発埼玉県民集会実行委員会学習交流会 「福島は今」を知る学習交流会を開催

さいたま市浦和コミュニティセンター第13集会室にて、学習交流会を開催しました。東京新聞編集委員の山川剛史さんから、映像と動画を使って、福島第一原発の各号機の現状を詳しく報告いただきました。次にいわき市から自主避難されている方から原発事故当時のことを振り返りながらお話いただきました。

第54回埼玉県消費者大会 第1回プレ学習会

消費者被害の現状と 地方消費者行政の役割と課題について学習

与野本町コミュニティセンターで、埼玉県消費者大会実行委員会メンバーを含め50人が参加、NPO法人 埼玉消費者被害をなくす会理事長で弁護士の池本誠司さんを講師に「身近な問題 地方消費者行政を考えよう」をテーマに学習しました。

埼玉県での具体的な事例を交えた消費者被害の現状について学び、地方消費者行政が、消費者被害を防止するためにどのような役割を果たしているのか、また、現状の課題に対して、私たちは何ができるのかの投げかけがありました。



6/21

Thu.



埼玉県生活協同組合連合会 第47回通常総会

2017年度事業報告および2018年度 事業計画など全ての議案が承認されました

さいたま共済会館601会議室にて、代議員42人（実出席28、書面出席14）が出席し、開催されました。来賓として、埼玉県県民生活部消費生活課課長田中誠様、JA埼玉県中央会常務理事小池和明様、埼玉県地域婦人会連合会会長柿沼トミ子様よりごあいさついただきました。次に、岩岡会長理事が第1号議案から第5号議案まで一括提案し、4人の代議員からの発言、議案討議のまとめを経て採決をおこない、全ての議案が承認されました。

会員生協の取り組み

広がる県内生協の多彩な活動

生活協同組合コープみらい

田んぼや畑でコープみらいの食育「たべる、たいせつ」の取り組みをすすめています

コープみらいでは、生産者団体やJAの皆さんに協力いただき、吉川市で「田んぼの教室(全2回)」、川島町で「田んぼのがっこう(全4回)」、埼玉産直センターで「畑のがっこう(全3回)」を開催し、食べ物を育てる喜びと苦労を知り、食べ物を大切にす気持ちを育てる取り組みをすすめています。また、深谷ねぎの在来種で種の存続が危うい「幻のねぎ」とも呼ばれる「農研ねぎ」を守る、埼玉産直センターの取り組みにブロック委員が参加しています。

▶「農研ねぎ農業体験コース第1回種取り」にブロック委員など12人が参加しました



▲「田んぼの教室 第1回・田植え体験」に子ども27人を含む12家族60人が参加しました

生活協同組合パルシステム埼玉

祝! ノーベル平和賞受賞記念 ICAN川崎哲さん講演会

5月28日(月)、浦和コミュニティセンターで、昨年ノーベル平和賞を受賞した核廃絶国際キャンペーン(ICAN)の国際運営委員で「ピースボート」の共同代表を務める川崎哲(あきら)さんをお迎えして講演会を開催。「核兵器禁止条約を生かすために」をテーマに、世界の核を取り巻く現状と、廃絶へ導くために私たちにできることについてお話いただきました。また、ノーベル平和賞授賞式の様子も伝えられ、参加者は熱心に耳を傾けていました。



生活クラブ生活協同組合

はにゅう・米づくり体験交流2018(羽生)

生活クラブ生協埼玉では、埼玉県内の農業使用を減らすことで、環境を守り、理解ある生産者を増やしていくため、「はにゅう米」という名称で、提携生産者と取り組みを続けています。5月12日(土)は組合員の参加で田植えを実施しました。田植えにはもってこの天気に恵まれ、70人を超える参加者で賑わいました。これから植えるお米は、埼玉県が開発した米であること、無農薬米、普通米は農薬4回成分を達成していることなど、優位性を伝え、生産者、JAの方を紹介。子どもも親も、どろんこになりながらも楽しく苗を植えました。



医療生協さいたま生活協同組合

熊谷生協病院 病児保育室に熊谷市長が来訪しました

5月9日(水)、熊谷市の富岡清市長が副市長・福祉部長とともに、熊谷生協病院の病児保育室「こぐまちゃんち」に来訪しました。2012年スタートの職員向けの病児保育室は、この4月から市民にも開かれた市の委託事業になっています。利用した方からの「仕事を休まず、安心して預けられた」などの感想を市長に伝え、市長から期待と激励の言葉がありました。今後も、小児科のある病院ならではの安心・安全なサービスを提供していきます。



▲右:小堀・熊谷生協病院院長、右から二人目:富岡・熊谷市長

子どものその保育生活協同組合

切り紙あそびに、子どももおとなも夢中

6月10日(日)の卒園生対象事業は、子どもたちの大好きな「切り紙あそび」でした。小学校1年生から5年生まで30人の子どもたちと、11人のお父さん、お母さんも参加して挑戦しました。

簡単な渡り鳥やつばめから、難しい立体切り紙のトノサマバッタまでをそれぞれのペースで作っていただきました。大人も子どもも夢中になる奥深いあそびでした。



さいたま住宅生活協同組合

住宅生協会館をリニューアル

さいたま住宅生協3F会議室を、住宅生協が進める家づくり「明日家(あすか)」仕様のショールームを兼ねた会議室としてリニューアルしました。この事業は、創立25周年を契機に住まいを新しく建てたり、リフォームを考えている方々のために、直接材料を手にとって見たり、自然素材とはどんなものなのかなど、住まいづくりをより身近に感じてもらうと行ったものです。リニューアルした会議室で、今年度第1回目の「住まい講座」を開催したところ、参加した組合員の方から「明日家」の住まいづくりに関心が寄せられました。



十文字学園生活協同組合

食生活相談会を実施しました

十文字学園生協では6月22日(金)の昼休みに『食生活相談会』を実施しました。アルコールパッチテスト、血圧測定、体脂肪測定、肌水分測定の他、管理栄養士による食生活・健康相談を行い、50名の学生が参加しました。測定で一番人気があったのがアルコールパッチテストで、自分がお酒を飲める体質かどうか知りたいという学生が多いようです。毎年この時期に実施している企画ですが、学生組合員の要望に合った内容になっていると思います。

